

登録コード	T2044300	開講年度	2026		県内大学開放授業				
授業科目	待ち行列理論(16T以降)				担当教員	西新 幹彦			
英文授業名	Queueing Theory				副担当				
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・4時限		対象学生	電子情報システム工学科3年生	
講義室	工C3-200教室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考		
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】				
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ								
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。				「待ち」という現象を確率論的に捉える方法を修得する。				
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	確率過程という考え方をを用いて待ち行列システムを記述し、現象を把握したり問題を解決する方法を学ぶ。								
(5)授業計画	第1週 ランダムな到着 第2週 ベルヌーイ過程の到着数 第3週 ベルヌーイ過程の到着間隔 第4週 ベルヌーイ過程の年齢と余命 第5週 ポアソン過程 第6週 ポアソン過程の別定義 第7週 ポアソン到着の年齢と余命 第8週 ポアソン到着の結合 第9週 ポアソン到着の分割 第10週 再生過程 第11週 待ち行列システム 第12週 リトルの定理の応用例(1) サーバーの平均稼働率ほか 第13週 リトルの定理の応用例(2) フロー制御ほか 第14週 シングルサーバーシステムの解析 第15週 事例解析（授業アンケート実施）								
(6)成績評価の方法	期末試験の成績で評価する。								
(7)成績評価の基準	授業中の基礎的な例題が解ければ達成目標の水準にあるとみなす。								
(8)事前事後学習の内容	復習を徹底されたい。予習が望ましい場合にはその内容を授業の中で伝える。								
(9)履修上の注意	確率統計を修得していることが望ましい。								
(10)質問,相談への対応	随時受け付ける。								
(11)その他									
【教科書】	指定しない。								
【参考書】	指定しない。								